

東 部

地域局

通 信

第23号

2024. 11. 29

発行 静岡県東部地域局地域課



こんにちは！ 静岡県東部地域局です。

東部地域局通信は、静岡県東部の14の市町の様々な情報を局員それぞれが独自の視点で取材編集しています。世界文化遺産である富士山や、ユネスコ世界ジオパークの伊豆半島、世界農業遺産の「わさび」など、世界に誇る地域資源に恵まれている東部地域の魅力をお届けします。

局員一人一人の個性あふれる記事にも御注目ください。お楽しみに！

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練を
11月13、14日に実施しました

大規模災害を想定した緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が、県東部を中心に県下22会場で行われました。緊急消防援助隊は、大規模な災害が発生したとき、全国の消防部隊が被災地に駆け付け、人命救助等を行う応援部隊です。東日本大震災や能登半島地震などの大規模災害時には静岡県隊も応援業務に従事しました。災害時における活動能力の向上を目的として、全国を6ブロックに区分し合同訓練を毎年実施しています。今回の訓練には、関東1都8県から約1,000人の消防隊員が訓練に参加するとともに、県内消防本部・消防団、警察、自衛隊、建設業者等500人も参加して実施されました。

東部地域における訓練の様子を紹介します。

天城ふるさと広場会場

伊豆市の天城ふるさと広場では、多目的グラウンドを中心に天城ドーム、野球場、体育館のほか、隣接する立岩石材興業㈱スコリア工場で、地震で倒壊した建物からの救助訓練を中心に実施されました。

写真は、建物からの救助訓練の様子で、屋内への進入、要救助者の救出、搬送を実施しているものです。手前の車は大型車両の進入が困難な地域でも活動できる小型車両で、近年各消防への配備が進められています。



田貫湖会場

富士宮市の田貫湖では、台風による水害で孤立した被災者の救助訓練や大規模火災を想定し消防車を連結する遠距離送水、放水訓練などが実施されました。

また、消防車両の一般展示も実施されました。

写真は、浸水した住家に取り残された人の救助に向かう千葉県隊の中型水陸両用車です。



二葉建設(株)東山工場会場

御殿場市の二葉建設(株)東山工場では、土砂に埋もれた家屋や車両、洪水で流された被災者の救助訓練を実施しました。

写真は、災害発生現場に現地指揮所を設置し、土砂に埋もれた家屋からの救出を実施しているものです。

模擬家屋から伸びている筒状の物は、狭い空間からの救助訓練を行うために設置したものです。

(担当:太田)



東部地域サミットを開催しました



東部地域サミット開会の挨拶（鈴木知事）

参加市町：沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、函南町、清水町、長泉町、小山町

県と市町が連携・協働して地域課題の解決に取り組むために、令和6年11月8日に三島市で、知事と東部地域の10市町の首長が意見交換を行う「東部地域サミット」を開催しました。

意見交換は、「産業・観光振興」「子育て・教育・健康」「防災・減災」「暮らし・環境」の4つのテーマで行いました。例えば、「子育て・教育・健康」のテーマでは医師不足の解消に向けた取組について、「防災・減災」のテーマでは災害時の物資の確保について、また、「暮らし・環境」のテーマではバスの運転手不足による地域公共交通のあり方について等、様々な地域課題解決に向けた意見交換を行いました。

今後も市町の皆様と連携して東部地域の活性化に向けた取組を行っていきます。

（担当：中野）

東部地域【富士山・伊豆】移住相談会を開催しました



市町ブースでの個別相談

令和6年10月14日に東京八重洲の移住・交流情報ガーデンで「静岡県東部地域【富士山・伊豆】移住相談会」を開催しました！

当相談会は、富士山・伊豆半島という首都圏在住の方にもなじみ深く、移住地としても人気のある本県東部地域に移り住むための相談をお受けするもので、昨年度に続いて2回目の開催になります。

参加市町は昨年度から5市町増え、東部地域局管内の14市町すべてが参加しました。



移住に関する基礎セミナー

当日は、各市町ブースでの個別相談に加え、移住サポートの専門家である中屋香織氏を講師として招き、移住に関する基礎セミナーも開催しました。

首都圏在住の40人近くの方に来場いただき、計60件以上の相談をお受けしました。来場者からは「静岡県東部地域のことを深く知ることができる良い機会となった」などの声があり、満足度の高い相談会を開催できたと感じています。

引き続き東部地域が移住先となるよう、魅力発信を進めていきます。

（担当：中村勇）

おしごとバスツアーを開催しました

参加者は21人（県内外の20代の学生から60代まで幅広い世代が参加）



「嵯峨沢館（伊豆市）」での企業説明会の様子

静岡県移住・就業マッチング支援事業の一環として、伊豆地域への移住や就職に興味のある方（一般・学生）を対象とした「伊豆おしごとバスツアー」を、令和6年10月20日に開催しました。伊豆市の宿泊施設で実際に働く現場を見学するとともに、企業説明会を開催しました。また、ツアーの後半では、移住に関するミニセミナーや伊豆に事業所を構える7つの企業との交流会イベントを行いました。参加者は宿泊業者の話を熱心に聴いていました。

今後も静岡県公式移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」での情報発信やイベント等を通じて本県への移住・定住支援を行っていきます。

（担当：中野）

（参考）
「ゆとりすと静岡」
はこちら→



「こども・若者意見反映ワークショップ」を開催しました

学校や年齢の垣根を越えて意見交換をすることで、自身の考えや見方もより広がったようでした！



県では、こども・若者のみなさんが、自分らしく幸せに暮らし成長することができるよう「(仮称)静岡県こども計画」を新たに策定します。これまで、大人が中心となって考えていた計画に、こども・若者のみなさんのこえを反映するための取組として、令和6年10月20日に東部地区(沼津市)で「こども・若者意見反映ワークショップ」を開催しました。

小学生から29歳までの参加者8人が、「友達との関係づくり」「結婚と家族形成」など、私たちの生活と身近なテーマについて、普段思っていることや感じていることなど率直な意見を出し合いました。

県では、未来を担うこども・若者のみなさんが自己の成長や豊かさ、幸せを実感できる社会の実現に向けて、引き続き様々な施策に取り組んでいきます。
(担当:小玉)

\\みんなのアイデアで伊豆をアップデート\\ ノーコードツール『ハッカソンin伊豆』が開催されました！

伊豆市でノーコードツールを活用したイベント『ハッカソンin伊豆』(伊豆市・ノーコード推進協会主催)が開催されました。このイベントは、初心者でも手軽にアプリ開発ができるノーコードツールを使用し、地域課題を解決するためのアプリやWebサービスを開発した成果を競うものです。伊豆地域の市民や企業など10チームが参加し、約1か月かけてアプリ開発を行いました。令和6年9月10日に行われた最終発表会では、「滝尻わさび園」が開発した、農家が抱える問題を解決するアプリが最優秀賞に選ばれました。

この取組のように、今の時代には自分たちで地域課題を解決する術がたくさんあります。一人ひとりが地域に目を向け行動することが、持続可能な地域づくりにつながるのではないのでしょうか。
(担当:駒谷)



その他にも…
・災害情報共有
・家庭料理テイクアウト
・事業マッチング
など様々なアイデアが生まれました！



業務効率化のため、注文から発注、わさび田見学を一括管理できるアプリを開発しました



滝尻わさび園のみなさん(左から2、3、4人目)

※ハッカソン…テーマに沿って、チームで一定期間集中的にアプリやシステムを開発し、成果を競う大会

安政東海地震が発生してから170年 ～SNSなどで情報発信を行います～



ふじのくに田子の浦みなと公園にある歴史学習施設「ディアナ号」

安政東海地震が発生してから今年で170年を迎えます。そこで、当局では地域で起きた災害を知り、災害に備えるきっかけにしようするため、当時の被害状況等について、SNSや企画展で情報発信を行います。安政東海地震を記録した貴重な資料や災害時に役立つ情報などを紹介しますので、是非御覧ください。

期間: 令和6年12月12日(木)～12月25日(水) ※土日を除く

(1) 情報発信媒体: 東部地域局公式SNS(X, Instagram, note)

(2) 企画展会場: 静岡県東部総合庁舎本館2階ロビー (沼津市高島本町1-3)

安政東海地震とは

嘉永7年(安政元年)11月4日(1854年12月23日)遠州灘の御前崎沖、南海トラフに沿うプレート境界を震源とするM8.4の巨大地震が発生し、伊勢・志摩から伊豆に至る東海地方沿岸沿いの広い範囲に大きな被害を与えました。

Q. ディアナ号と安政東海地震の関係は? ⇒答えはSNSや企画展でチェック!

(担当:野沢)

— 豪華クルーズトレインが県内を走行 —

THE ROYAL EXPRESS ~SHIZUOKA・FUJI CRUISE TRAIN~

東急株式会社と東海旅客鉄道株式会社(JR東海)は、豪華クルーズトレイン「THE ROYAL EXPRESS ~SHIZUOKA・FUJI CRUISE TRAIN~」を静岡県で共同運行しています。11月8日(金)から12月16日(月)までの期間で、3泊4日の旅が計6回行われます。

運行初日の11月8日には、JR三島駅で運行記念セレモニーが開かれました。知事、JR東海社長、東急社長、伊豆急行社長らが参列したほか、三島市の伝統芸能「しゃぎり」の演奏や地元園児による歓迎もあり、列車の到着を盛大に出迎えました。

今回の取組は、JR東海が東急の「THE ROYAL EXPRESS」による地域活性化のノウハウを生かし、静岡県の魅力ある旅行商品を提供することで、地域活性化に貢献しようと企画されたものです。



コンセプト

静岡の魅力を伝え
地域とともに世界に誇る憧れの旅舞台を

車両デザイン

「THE ROYAL EXPRESS」は、定員約50名、客室、キッチンカー、マルチカーを備えた8両編成の観光列車です。「ななつ星in九州」や九州新幹線「つばめ」などの車両デザインで有名な水戸岡鋭治氏がデザインを手掛けています。外観はロイヤルブルーを基調に、アクセントとして金色のラインが施され、内装は伝統工芸や寄木、ステンドグラスが散りばめられた高級感のある空間となっています。

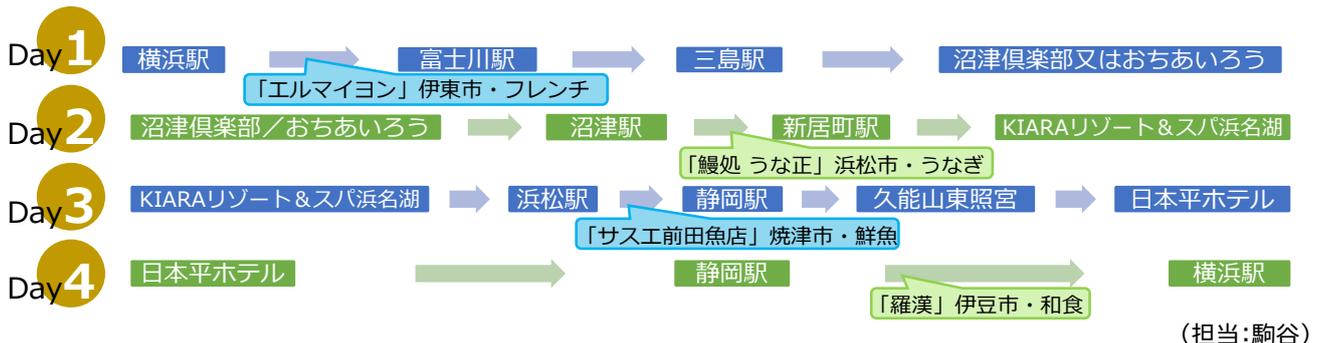
水戸岡氏は県内でも、下田市の寝姿山山頂にある観光施設「THE ROYAL HOUSE」のデザインも手掛けています。ロイヤルな空間を味わいたい方には、こちらもおすすめです。

(写真提供:東急株式会社)



〈3泊4日〉旅の紹介

富士山の麓の美しい自然、伝統文化、おもてなしを感じる宿、音楽など、静岡県の様々な魅力が詰まった旅となっています。車内では、当地でしか味わえない海の幸、山の幸を存分に生かした料理が振る舞われます。



静岡県東部地域局

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3
 055-920-2139
 toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp
 https://www.pref.shizuoka.jp/



◀ 東部地域局公式SNSでも
様々な情報を発信しています！

東部地域局は、富士山麓地域から伊豆半島地域にわたる県東部地域の14の市町を担当エリアとしており、自然災害などの危機事案への対応、地域振興や伊豆半島地域の観光振興などを担っております。

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・
 富士市・御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・
 函南町・清水町・長泉町・小山町